

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月19日

計画の名称	自転車通行空間整備事業												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	石狩市												
計画の目標	石狩市自転車活用推進計画に基づいて、自転車が安全快適に移動できる通行空間を整備する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	40	A	40	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	道の駅石狩「あいろーど厚田」を訪れる(5月~10月)サイクリスト数を380人/月から510人/月に増加 道の駅石狩「あいろーど厚田」を訪れるサイクリスト数を調査する。	380人/月	445人/月	510人/月

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 企画政策部企画課交通担当	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 石狩市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	自転車通行空間整備によって道の駅石狩「あいろーど厚田」へ訪れるサイクリスト人数が増加したものの、目標値は達成されなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	—
特記事項（今後の方針等）	
引き続き道の駅石狩「あいろーど厚田」をはじめとした主要施設へ訪れるサイクリスト人数の増加に向けた施策を進める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	510人 / 月	令和2年度から令和6年度にかけて道の駅来場者数の増加を見越してサイクリスト人数も増加目標を立てていた。サイクリスト人数は年々伸びたものの、当初想定伸び率に達しなかったことから目標値を下回ったものである。
	最終実績値	490人 / 月	